



# MSD12-47001

## シグネチャーイルミ

取付・取扱要領書

この度はモデリスタ シグネチャーイルミをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。  
本書は本商品の取付け、取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。  
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取り扱いを実施してください。

★ 本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

### ■ 品番・適合車種

| 品番          | 適合車種 | 型式           | 年式      | 備考 |
|-------------|------|--------------|---------|----|
| MSD12-47001 | プリウス | MXWH6#、ZVW6# | '22.12~ |    |

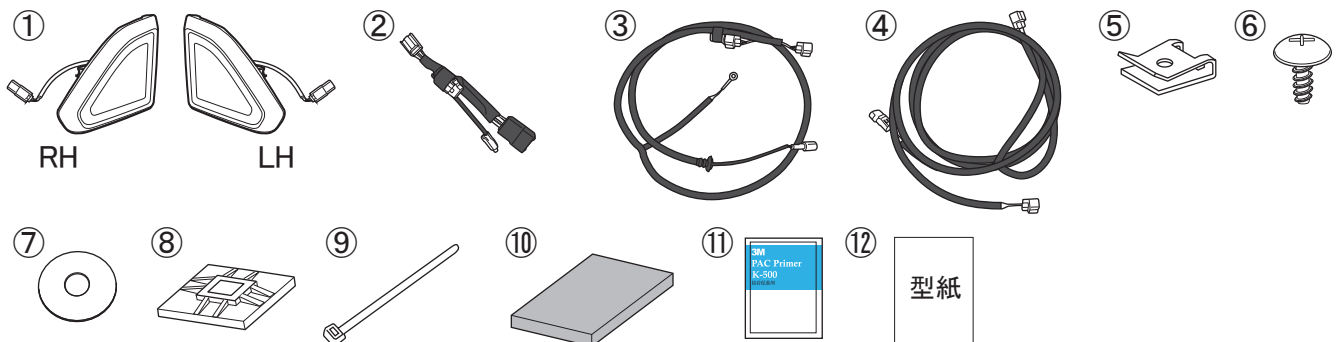
- ・モデリスタ フロントスポイラー (MSD41-47001/2/3/4)、サイドスカート (MSD44-47001/2) を同時装着する場合は、本製品を先に取り付けてください。
- ・最新の適合情報はモデリスタ カタログサイトをご覧ください。 <https://www.modellista.co.jp/>

### ■ 構成部品

| No. | 品名                | 品番          | 個数 | 備考        |
|-----|-------------------|-------------|----|-----------|
| ①   | シグネチャーイルミ (RH/LH) |             | 各1 |           |
| ②   | ハーネスA             |             | 1  | 室内用       |
| ③   | ハーネスB             |             | 1  | 中間部用      |
| ④   | ハーネスC             |             | 1  | フロントバンパー用 |
| ⑤   | Jナット              |             | 6  | M5        |
| ⑥   | タッピングスクリュー        |             | 6  | 5×14      |
| ⑦   | ナイロンワッシャー         |             | 6  |           |
| ⑧   | 結束バンドベース          |             | 4  |           |
| ⑨   | 結束バンド             |             | 24 |           |
| ⑩   | クッション             |             | 3  |           |
| ⑪   | PAC プライマー         | 08867-00230 | 1  | K-500     |
| ⑫   | 型紙                |             | 1  | A5        |

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

### ■ 構成部品図



## 取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。



### 警告

この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



### 注意

注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



### アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

### ⊘ やってはいけないこと

### ❗ 必ず行っていただくこと



### 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項を守り作業を行ってください。
- ❗ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足りないと脱落等により重大な事故や故障を招くおそれがあります。



### 注意

- ❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行い、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について(別添の脱脂作業要領も参考にしてください。)

- ⊘❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、記載以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- ⊘ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナー等の溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

### 両面テープについて

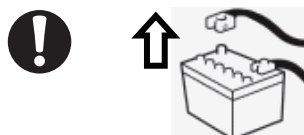
- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ⊘ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ⊘ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足りないと両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

### 取り付けが終わったら

- ❗ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

## シグネチャーイルミ配線取り付け上の注意事項

- ❗ ビニールテープをご使用の際は、必ず難燃性の耐熱ビニールテープを使用してください。  
推奨品：V9650-0484（耐熱ビニールテープ・灰色）
- ❗ バッテリー復元作業後は、機能部品に初期化や調整が必要な場合があります。  
取り付け作業後は必ず該当車両の修理書に従い、初期化・調整作業の有無をご確認ください。



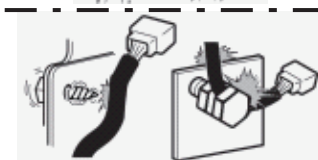
### 取り付ける前に

- ・作業前に、必ずバッテリーの⊖側ケーブルをはずす。



### 部品を取り付ける際は

- ・部品サイズにあった工具を使用する。

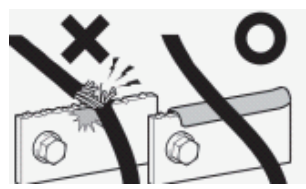


- ・部品の裏側に注意して、配線の噛み込みやビスの接触、断線に十分に注意する。



### 配線の取りまわしは

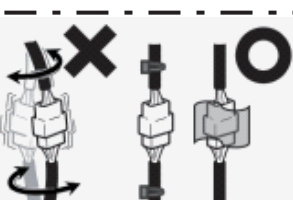
- ・コネクターは必ず本体を持ってはずし、配線は引っ張らない。



- ・バリ・エッジ部は、ガムテープ等で保護をする。



- ・コネクターは「カチッ」と、音がするまで確実に接続して、配線は無理な力で引っ張らない。



### 配線のクランプは

- ・結束バンドは配線が動かない程度に締めて、締めすぎない。
- ・結束バンドの余った部分は、エッジにならないようにカットする。
- ・カットした末端が、ほかの配線と接触しないようにする。
- ・コネクターが振動により異音がないように、確実に固定する。

### ⚠ 注意

- ❗ バッテリー接続中に作業を行なう際は、エアバッグセンサー等に衝撃を与えないように十分に注意して作業を行なってください。

## ■ 目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図 . . . . . 1
2. 取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ） . . . . . 2
3. シグネチャーイルミ配線取り付け上の注意事項 . . . . . 3
4. 目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図 . . . 4
5. 取付準備、取付要領 . . . . . 5～18
6. 取付完了後の点検・注意事項 . . . . . 18
7. 配線図 . . . . . 19

## ■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 一般工具
- ・ 加工用工具（ハサミ・カッター等）・ヤスリ・ニッパー・保護メガネ
- ・ 電動ドリル（刃：3.0mm/6.0mm/8.0mm）・エアソー
- ・ 軍手・保護シート・保護テープ
- ・ イソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

## ■ 保証について

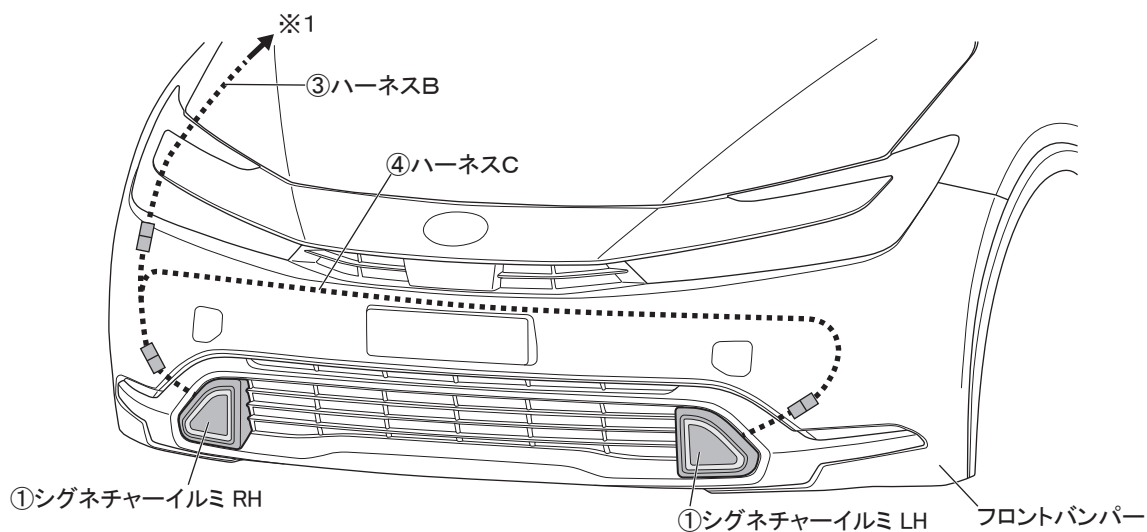
本商品は、1年・20,000kmの保証を実施致します。

（1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで）

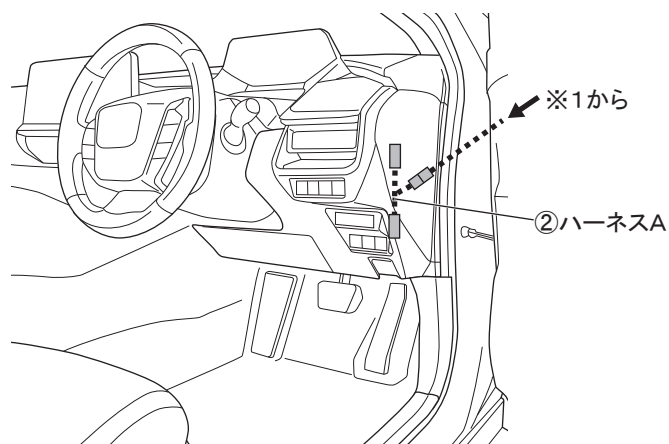
※保証の詳細はモデリスタ パーツカタログサイト<<https://www.modellista.co.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

## ■ 取付構成図



[運転席側室内]




## ■ 取付準備、取付要領

### □ シグネチャーイルミ取付準備

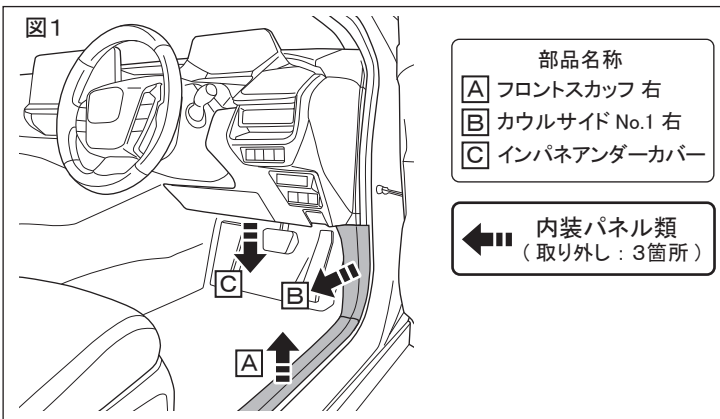
#### 【車両部品の取り外し作業】

1. バッテリーのマイナス端子を取り外す。

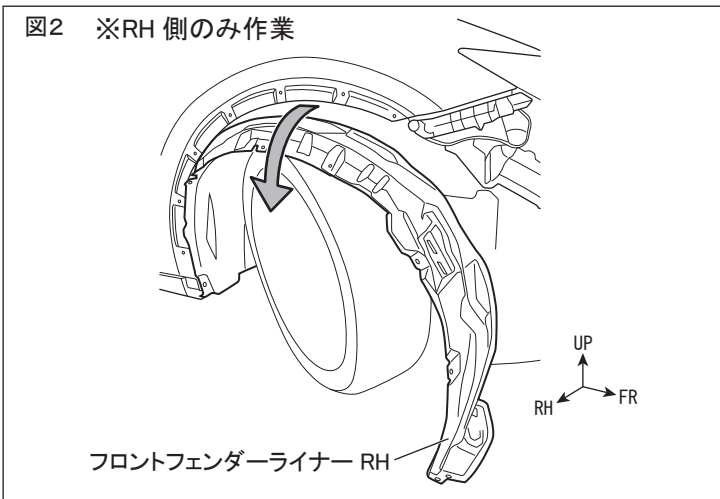
 **アドバイス:** バッテリーのマイナス端子を取り外す前にハンドルを右側に切っておくと配策作業が容易になります。

2. 該当車両の修理書に従い、フロントバンパーを取り外す。

**△ 注意:** 取り外した車両部品、車両スクリュー、車両クリップは再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。



3. 図1のように該当車両の修理書に従い、運転席側の内装パネル類を取り外す。(3箇所)



4. 図2のように該当車両の修理書に従い、フロントフェンダーライナー RH をずらす。

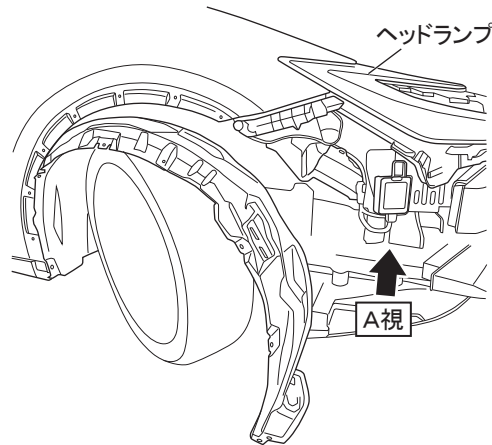
## 【配線作業 -1】

※PHEV 以外の場合

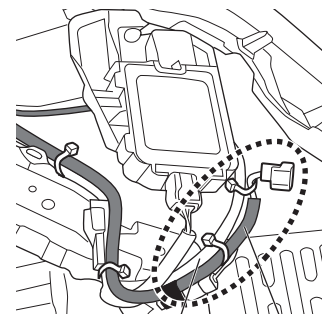
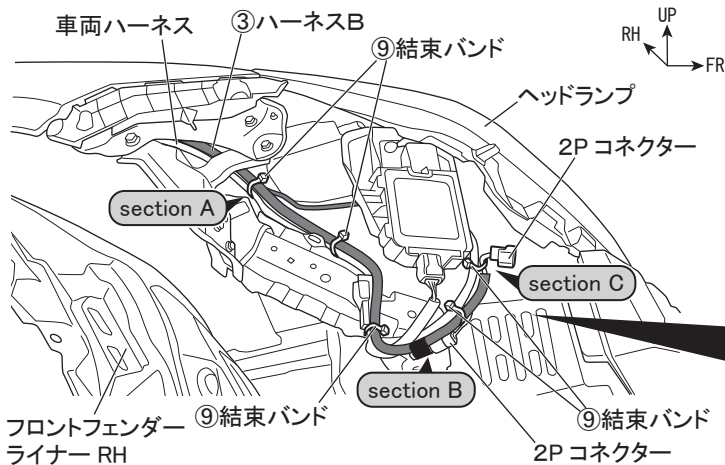
PHEV の場合は、7 ページに進んで作業を行ってください。

1. 図3のように車両ヘッドランプ下部に③ハーネスBを配策し、アース線との分岐部を基準に車両前側に向けて順番に⑨結束バンドで固定する。(5箇所)

図3



## [A視図]



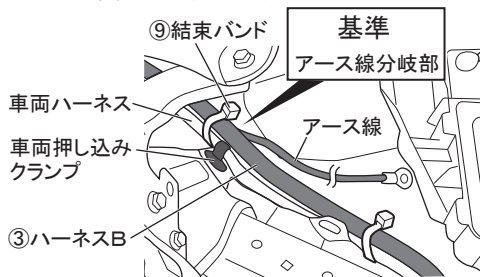
車両ハーネス ③ハーネスB

## ■ 重要 ■

フロントバンパーとの干渉を防ぐため、図示破線部は③ハーネスBを車両ハーネスの内側に固定してください。また、⑨結束バンドも車両内側に向けて固定してください。

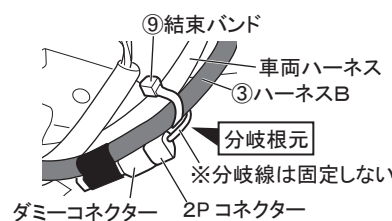
## section A

③ハーネスBの位置決めとして、③ハーネスBのアース線分岐部を車両ハーネスの押し込みクランプ真上で固定する。



## section B

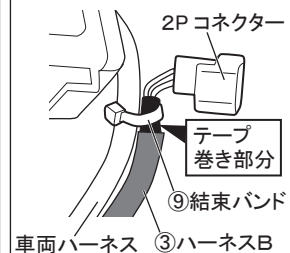
2P コネクターの分岐根元で固定する。



モデリスタ フロントスポイラー (MSD 41-47001/2) を同時装着する場合は、③ハーネスBのダミーコネクタを外し、フロントスポイラーのバンパーハーネスコネクタを接続してください。  
※取り外したダミーコネクタは使用しません。

## section C

2P コネクタ素線部のテープ巻き部分で固定する。



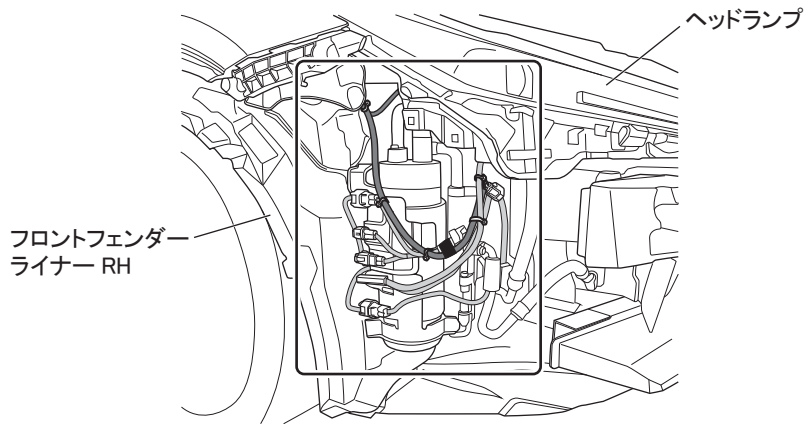
【配線作業 -1】

※PHEV の場合

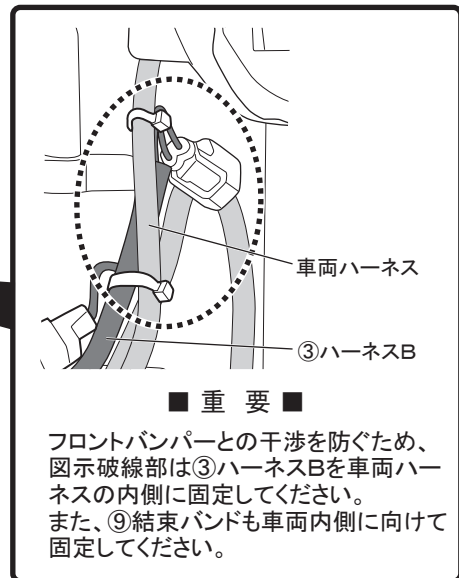
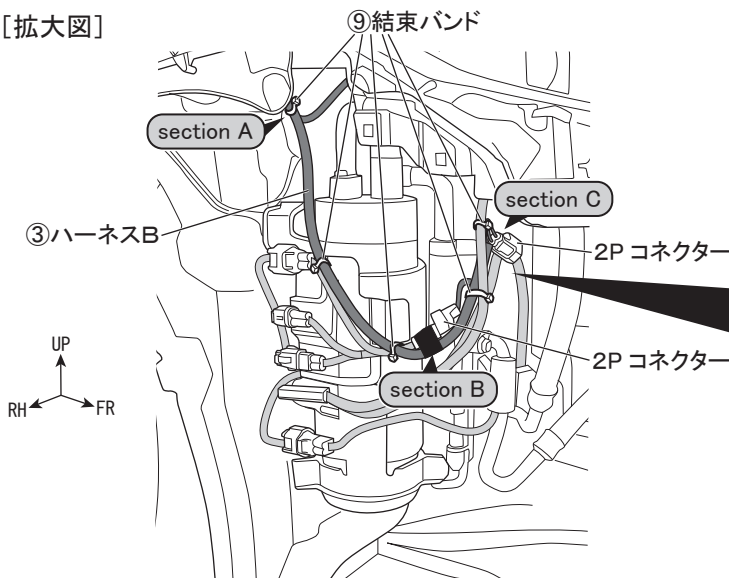
1. 図3のように車両ヘッドランプ下部に③ハーネスBを配策し、アース線との分岐部を基準に車両前側に向けて順番に⑨結束バンドで固定する。(5箇所)

図3

※車両のグレード、仕様により装着されている車両部品が異なる場合があります。

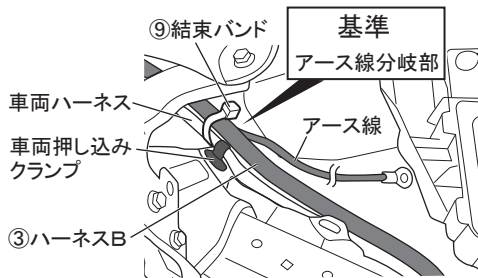


[拡大図]



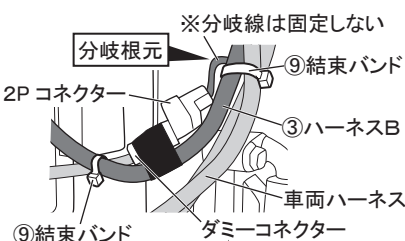
section A

③ハーネスBの位置決めとして、③ハーネスBのアース線分岐部を車両ハーネスの押し込みクランプ真上で固定する。



section B

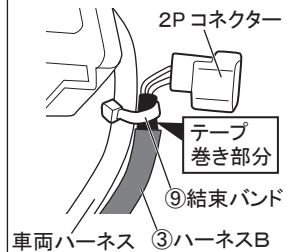
2P コネクターの分岐根元で固定する。



モデリスタ フロントスポイラー (MSD 41-47001/2) を同時装着する場合は、③ハーネスBのダミーコネクターを外し、フロントスポイラーのバンパーハーネスコネクターを接続してください。※取り外したダミーコネクターは使用しません。

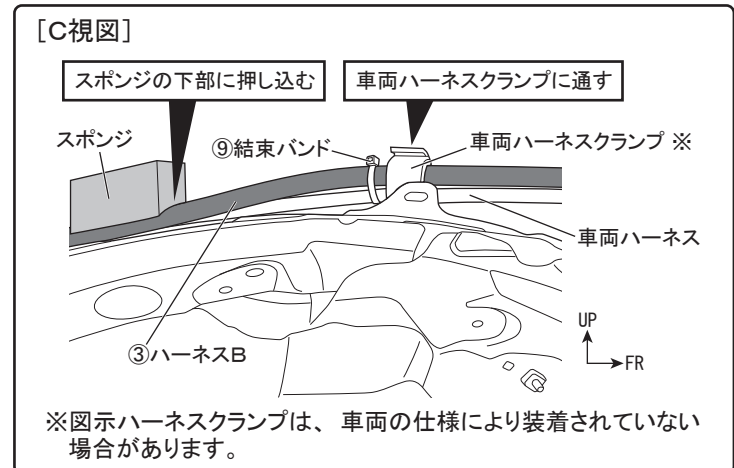
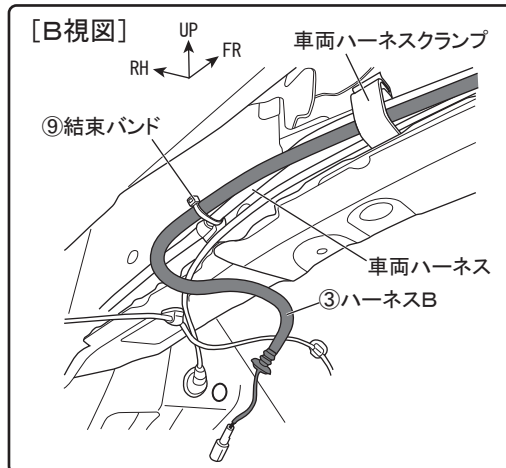
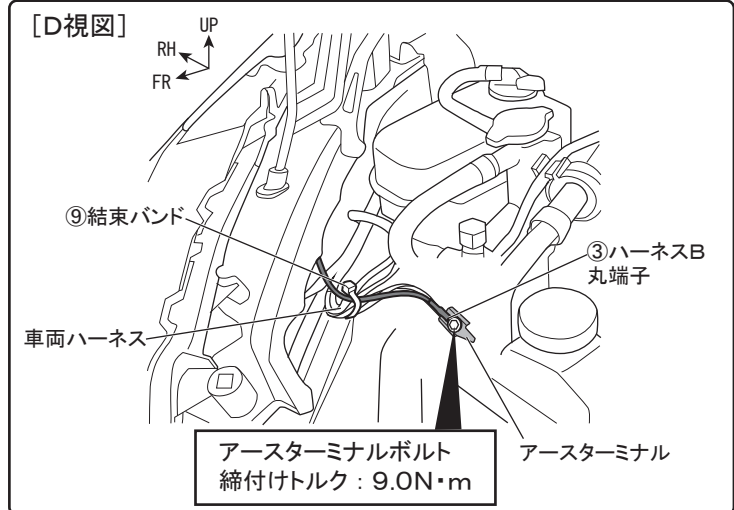
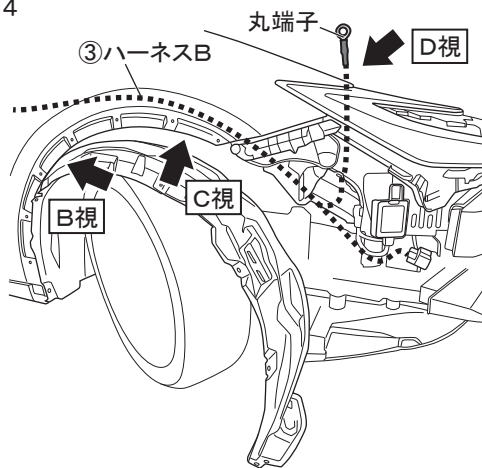
section C

2P コネクター素線部のテープ巻き部分で固定する。



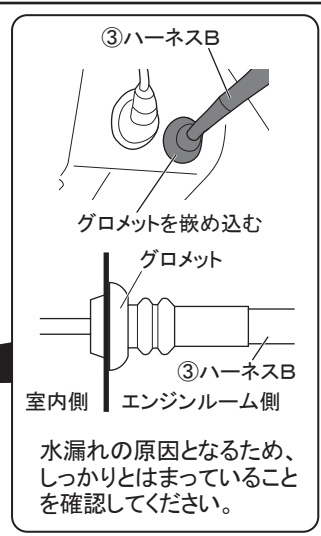
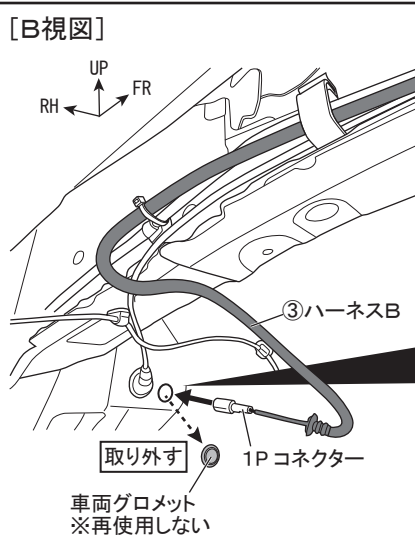
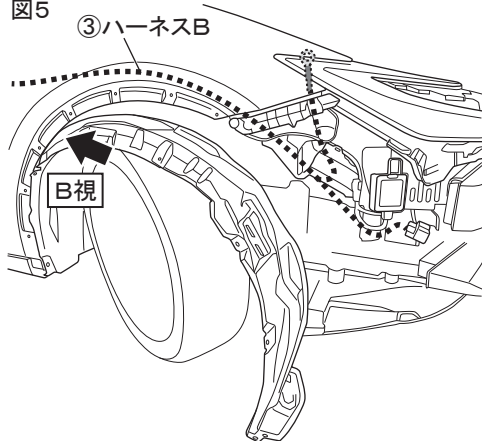
2. 図4のようにフロントフェンダー内側の車両ハーネスに沿わせて③ハーネスBを配策し、丸端子を車両アースターミナルに取り付ける。
3. 図4のように③ハーネスBを⑨結束バンドで固定する。(3箇所)

図4



4. 図5のようにフロントフェンダー内側から車両グロメットを取り外し、③ハーネスBの1Pコネクターを室内側へ引き込み、③ハーネスBのグロメットを車両穴に嵌め込む。

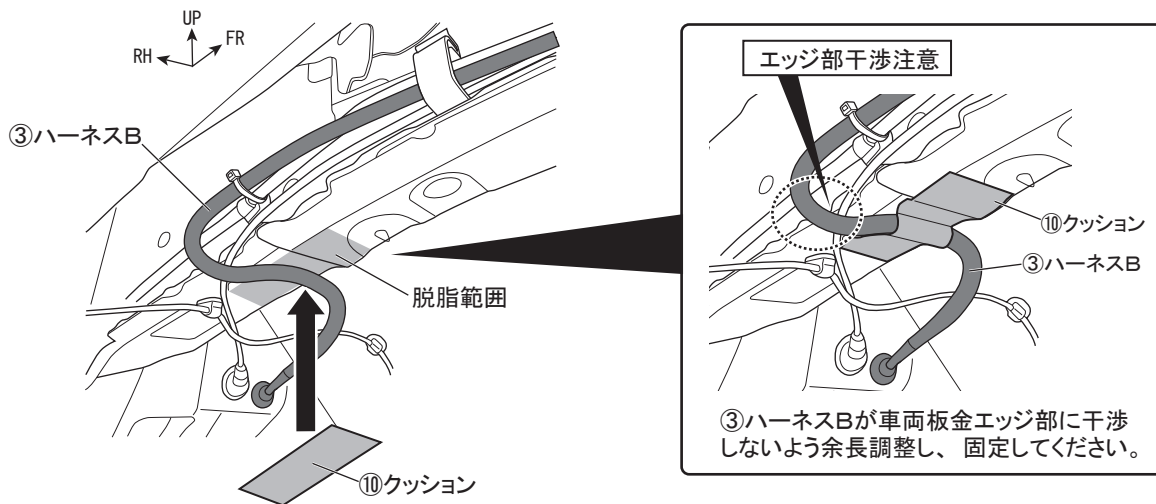
図5



△注意：車両グロメットを室内側に落とさないよう、注意してください。

5. 図6のように⑩クッション貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂し、⑩クッションを貼り付けて③ハーネスBを固定する。（1箇所）

図6



△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

△注意：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

## 【配線作業 -2】

1. 図7のように車両室内運転席側インパネ裏側のワイパーリレーモジュールの車両8Pコネクタを取り外す。

図7

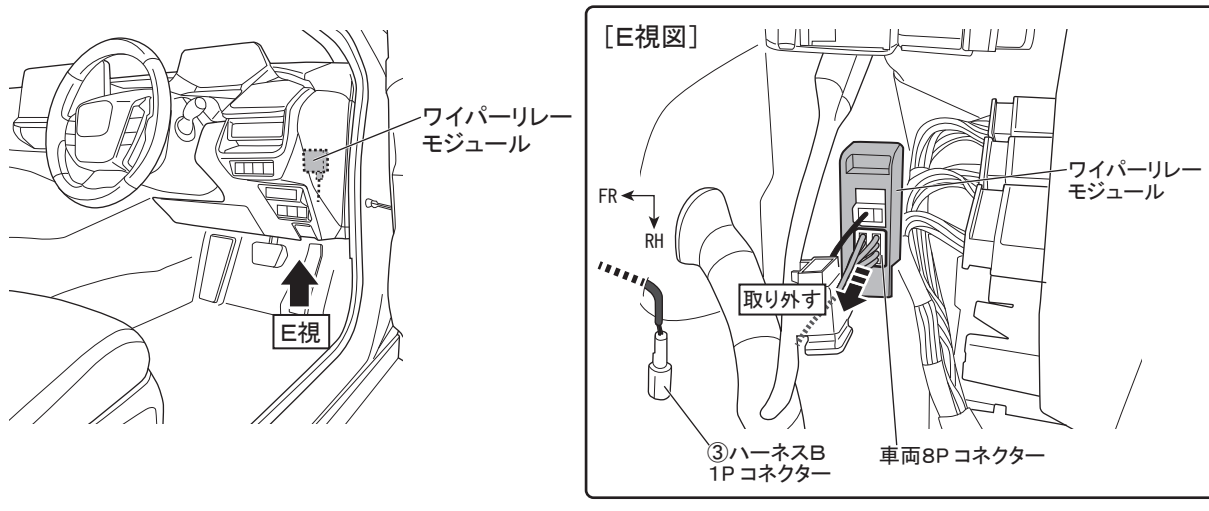
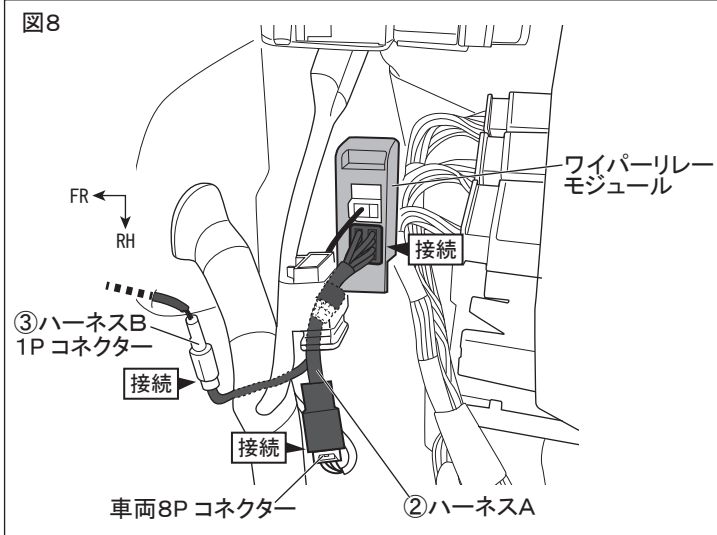


図8

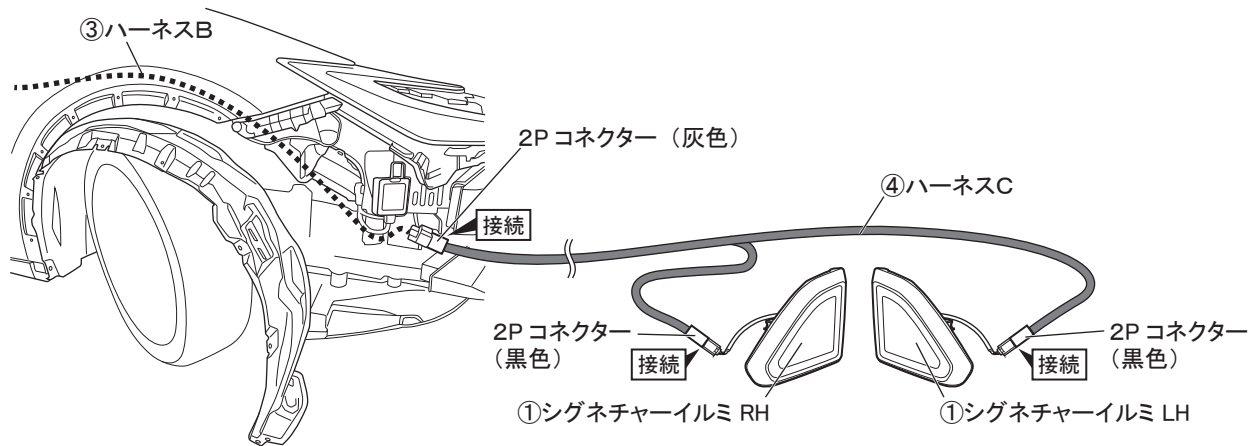


- 図8のようにワイパーリレーモジュールと車両8Pコネクタの間に②ハーネスAの8Pコネクタをそれぞれ接続し、1Pコネクタを室内側に引き込んだ③ハーネスBの1Pコネクタに接続する。

### 【点灯確認】

- 図9のように【配線作業-1】で取り回した車両ヘッドランプ下部の③ハーネスBの2Pコネクタ（灰色）と④ハーネスCの2Pコネクタ（灰色）を接続し、①シグネチャーイルミ（RH/LH）の2Pコネクタ（黒色）に④ハーネスCの2Pコネクタ（黒色）をそれぞれ接続する。

図9



- バッテリーのマイナス端子を取り付け、イグニッション ON の状態にして①シグネチャーイルミの点灯確認を行う。点灯確認後、バッテリーのマイナス端子を外す。
- ④ハーネスC、①シグネチャーイルミ（RH/LH）を取り外す。

△注意：点灯確認の際に車体および①シグネチャーイルミを傷付けないようにしてください。

## 【ロアグリルの穴あけ加工】

1. 図 10 のように⑫型紙A、B、Cをロアグリル裏面に貼り付ける。(左右各3箇所)

図 10 裏面視 ※LH図示 左右共通作業

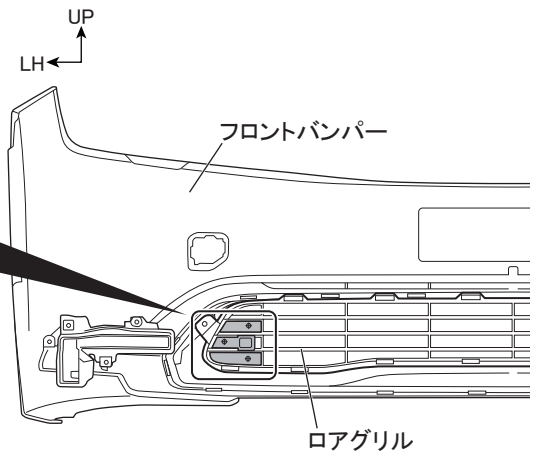
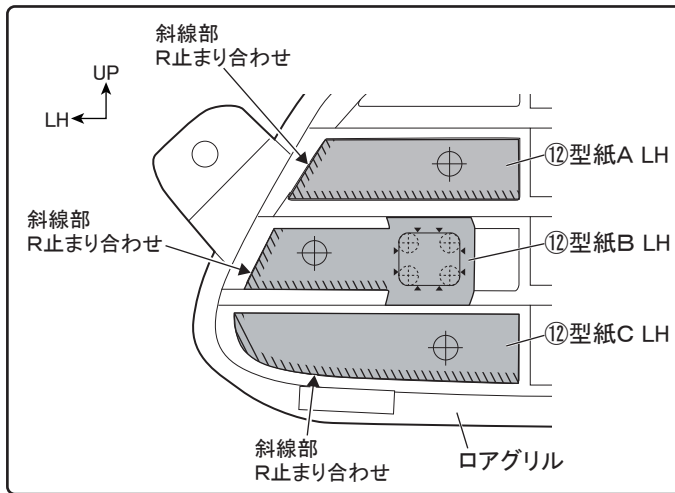
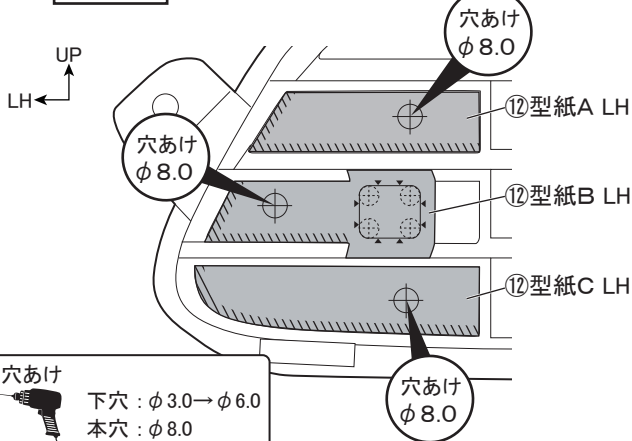


図 11 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



2. 図 11 のように⑫型紙A、B、Cの穴あけ位置に合わせて下穴をφ3.0→φ6.0の順であけ、φ8.0の本穴をあける。(左右各3箇所)

👉 アドバイス: 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

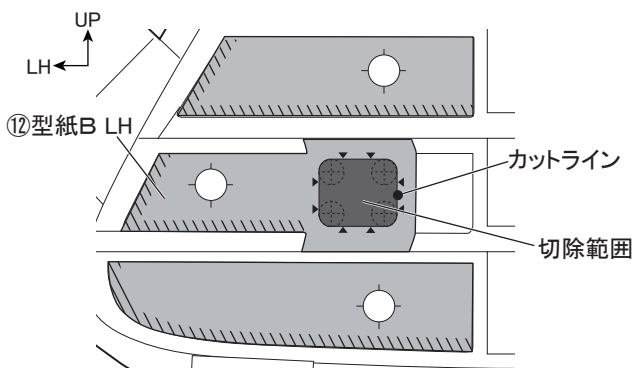
👉 アドバイス: 穴あけ作業の際はドリルの刃にガムテープ等を巻き、貫通防止策を施してください。



⚠️ 注意: 作業時は保護メガネを着用してください。

⚠️ 注意: ⑫型紙Bは、四角形状カット作業に使用するため、剥がれないようにしてください。

図 12 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



3. 図 12 のように⑫型紙Bの四角形状のカットラインに沿って、エアソー等を使用して切除加工する。(左右各1箇所)

⚠️ 注意: 作業時は保護メガネを着用してください。

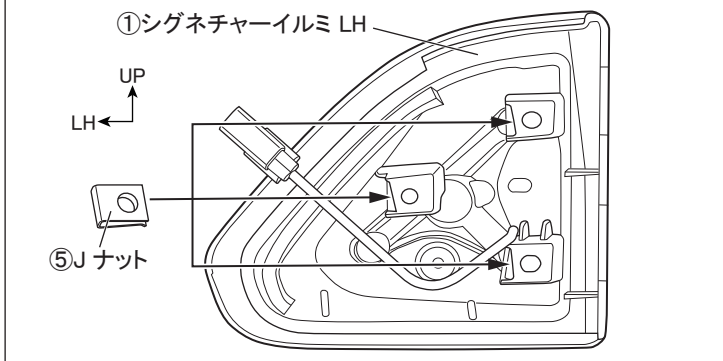
4. ⑫型紙A、B、Cを剥がす。(左右各3箇所)

5. 穴あけ加工部 (左右各3箇所) および切除部周囲 (左右各1箇所) のバリを除去する。

## □シグネチャーイルミ取付要領

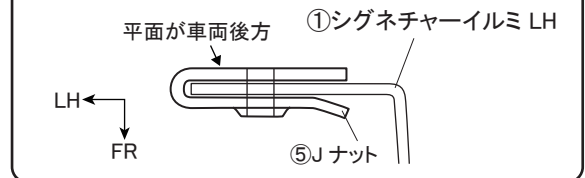
## 【シグネチャーイルミ取り付け作業】

図 13 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



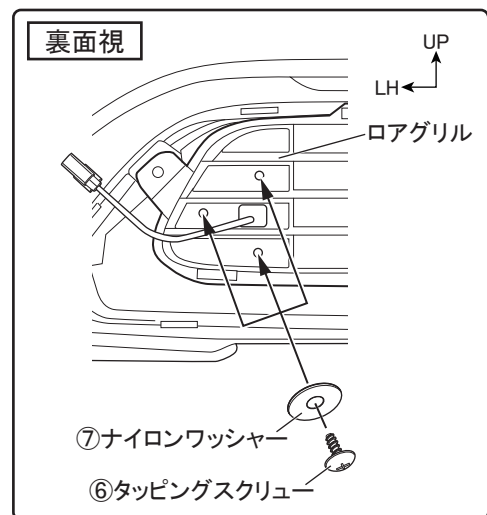
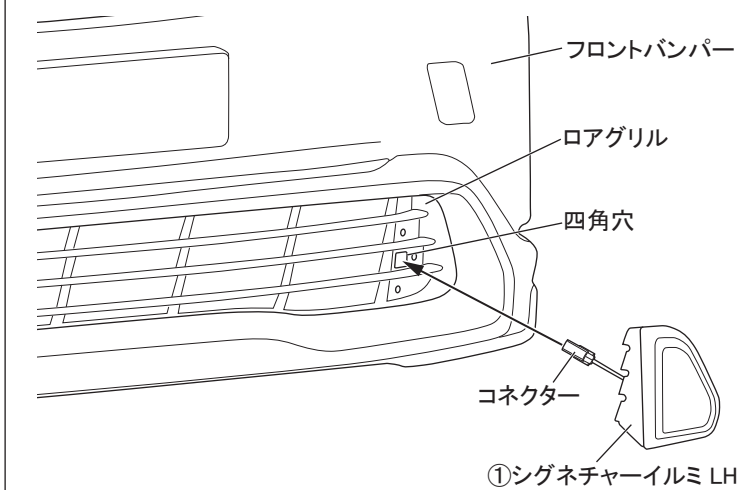
1. 図 13 のように①シグネチャーイルミ裏側に⑤J ナットを取り付ける。(左右各3箇所)

△注意：⑤J ナットの向きに注意して取り付けてください。



2. 図 14 のように①シグネチャーイルミのコネクターを 10 ページ【ロアグリルの穴あけ加工】の作業 3. で開けた四角穴に通し、①シグネチャーイルミとグリルのフィン形状が合うようにグリル両端部にはめ込み（左右各1箇所）、裏面から⑦ナイロンワッシャーと⑥タッピングスクリューで仮締めする。(左右各3箇所)

図 14 ※LH図示 左右共通作業



3. 図 15 のように①シグネチャーイルミ裏面の位置決めリブをロアグリルの壁面に押し当てながら位置決めし、⑥タッピングスクリューを本締めする。(左右各3箇所)

図 15 ※LH図示 左右共通作業

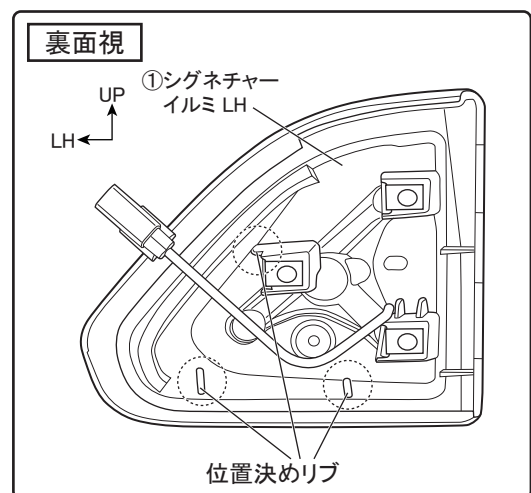
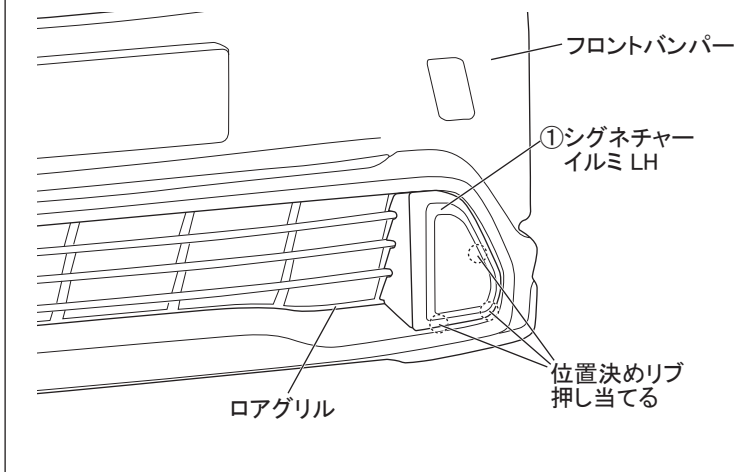
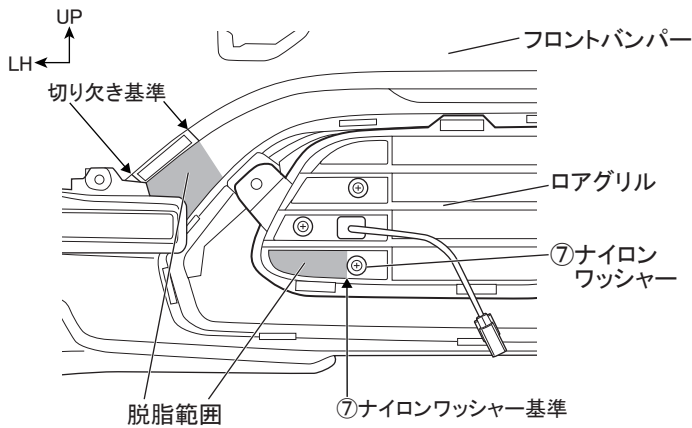


図 16 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



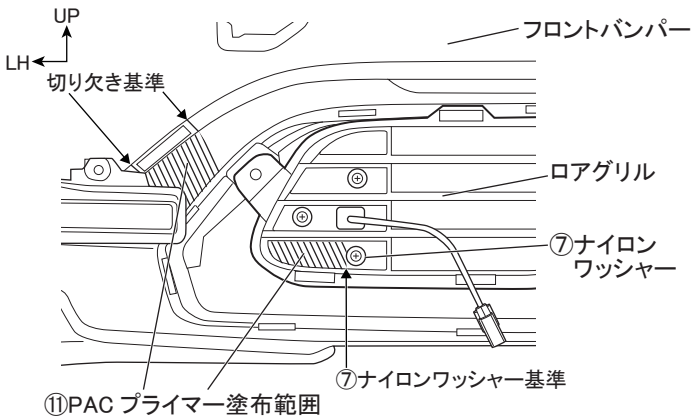
4. 図 16 のようにフロントバンパーおよびロアグリル裏面の⑧結束バンドベース貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール (IPA) で一方向に拭いて脱脂する。(左右各2箇所)

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

△注意：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

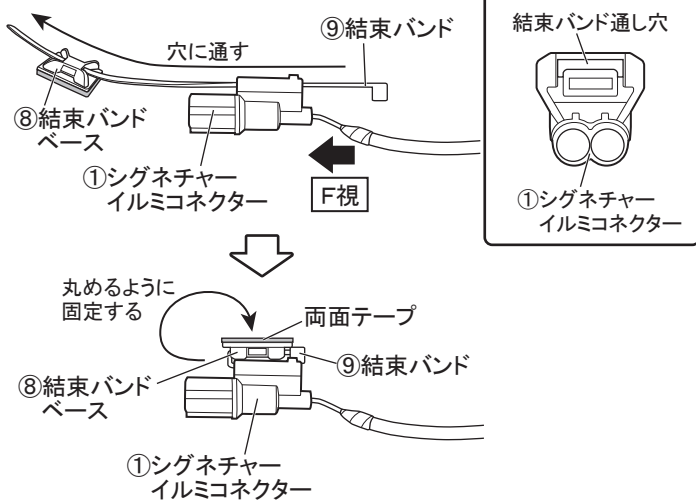
図 17 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



5. 図 17 のようにフロントバンパーおよびロアグリル裏面の⑧結束バンドベース貼り付け部 (左図斜線部) に⑪PAC プライマーを塗布する。(左右各2箇所)

△注意：PAC プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール (IPA) で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

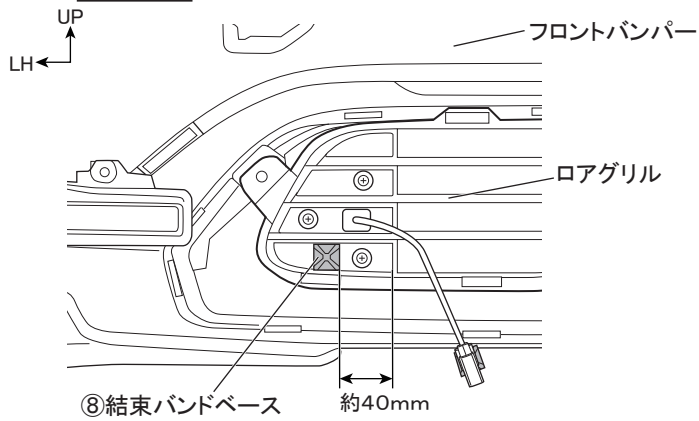
図 18 ※LH図示 左右共通作業



6. 図 18 のように⑨結束バンドを①シグネチャーイルミのコネクターと⑧結束バンドベースに通し固定する。(左右各1箇所)

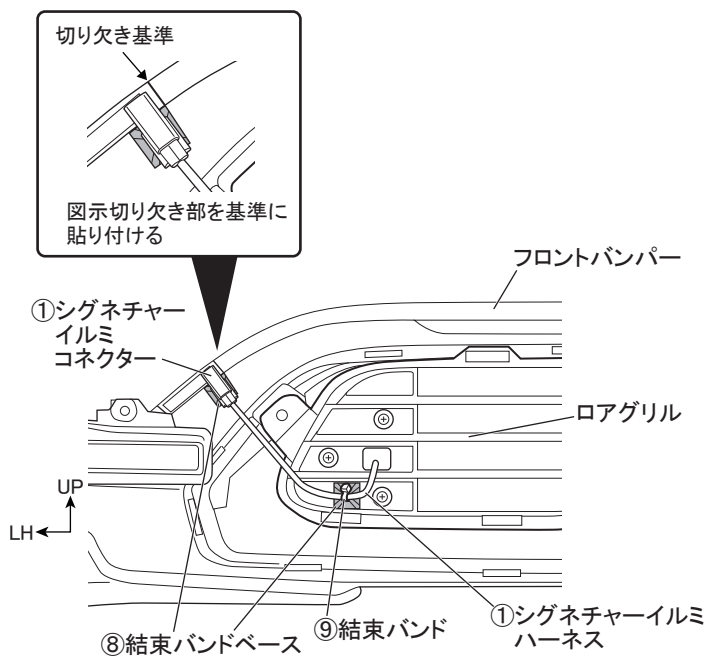
△注意：各 부품の取り付け順、向きを間違えないように注意してください。

図 19 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



7. 図 19 のようにロアグリル裏面に⑧結束バンドベースを貼り付ける。(左右各1箇所)

図 20 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



8. 図 20 のように①シグネチャーイルミのコネクタに取り付けた⑧結束バンドベースをフロントバンパー裏面に貼り付け (左右各1箇所)、ロアグリル裏面に貼り付けた⑧結束バンドベースに①シグネチャーイルミのハーネスを⑨結束バンドで固定する。(左右各1箇所)

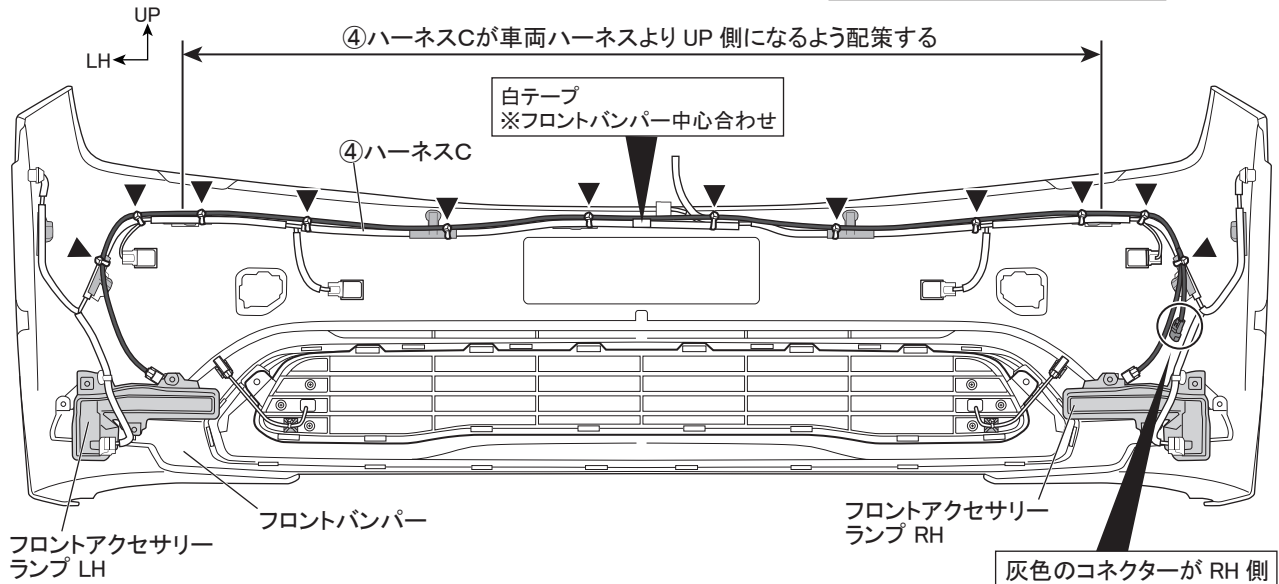
## 【配線作業 -3】

1. 図 21 のようにフロントバンパー裏面の車両ハーネスに沿わせて④ハーネスCを配策し、⑨結束バンドで仮固定する。  
この時、図示位置の④ハーネスCが車両ハーネスよりもUP側になるように配策する。
- ・フロントアクセサリランプおよびクリアランスソナー（6SSR）装着車：12箇所
  - ・クリアランスソナー（4SSR）装着車：10箇所

図 21 裏面視

[フロントアクセサリランプおよびクリアランスソナー（6SSR）装着車]

▼:⑨結束バンド 12箇所



[クリアランスソナー（4SSR）装着車]

▼:⑨結束バンド 10箇所

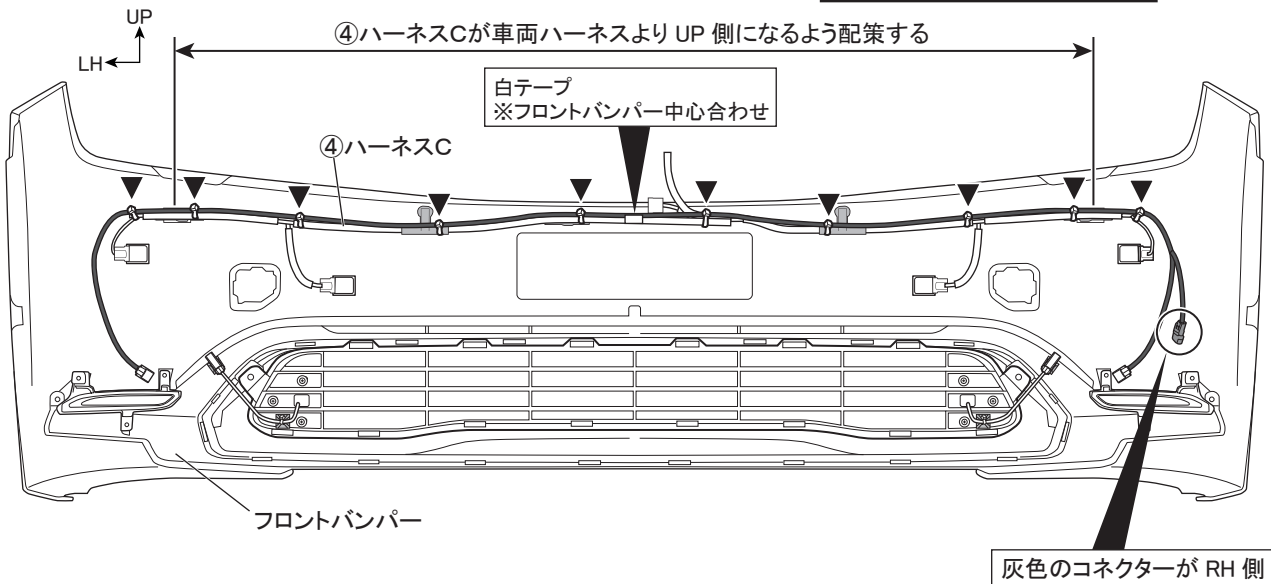
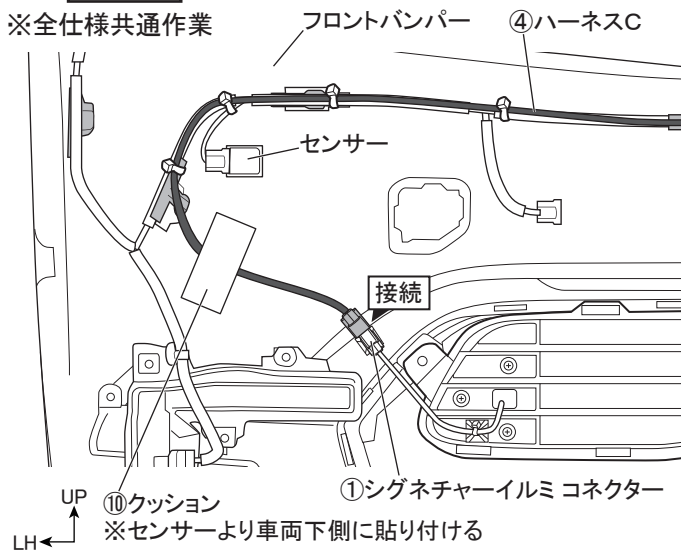


図 22 裏面視 ※LH図示 左右共通作業

※全仕様共通作業



- 図 22 のように④ハーネスCのコネクター（黒色）を①シグネチャーイルミのコネクター（黒色）に接続し、14 ページの作業 1. で仮締めした⑨結束バンド（12 または 10 箇所）を本締めする。
- 図 22 のように④ハーネスCが弛まないように⑩クッションでフロントバンパーに貼り付ける。その際に⑩クッション貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。（左右各1箇所）

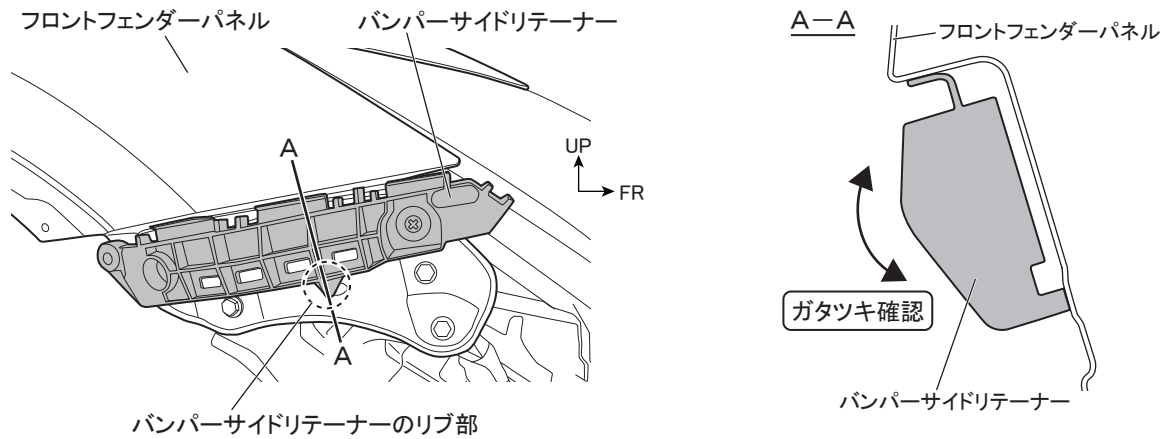
△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

△注意：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

4. 図 23 のようにフロントバンパーを復元する前にバンパーサイドリテーナーのガタツキ有無を確認し、ガタツキがある場合は車両フロントフェンダーパネルのバンパーサイドリテーナー取り付け部を修正する。

図 23 ※RH図示 左右共通作業

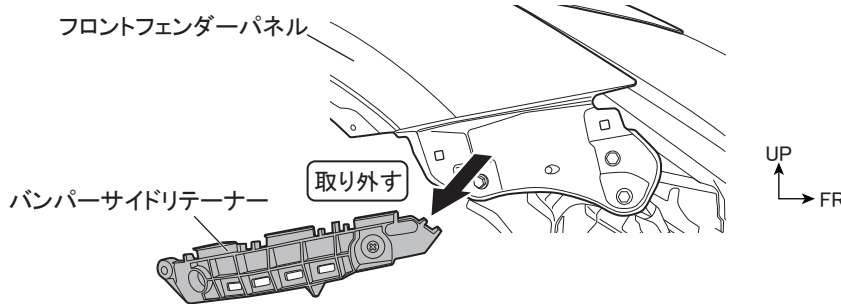


**ガタツキ無しの場合**

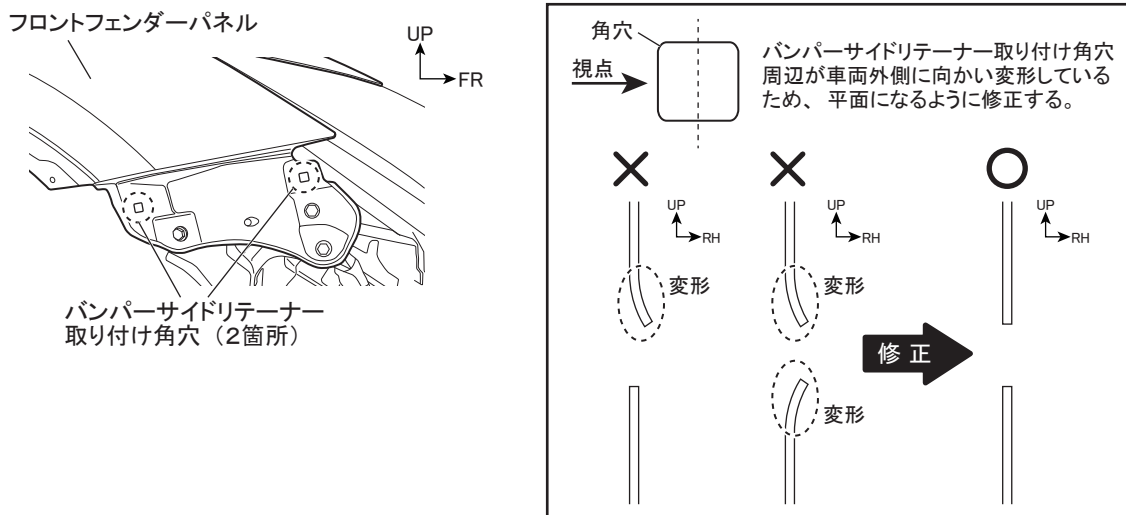
作業 5. のフロントバンパー復元作業に進む。

**ガタツキ有りの場合**

- ① 該当車両の修理書に従い、バンパーサイドリテーナーを取り外す。



- ② フロントフェンダーパネルのバンパーサイドリテーナー取り付け部の変形を修正する。



- ③ 該当車両の修理書に従い、バンパーサイドリテーナーを復元し、再度バンパーサイドリテーナーのガタツキの有無を確認する。

- ・ガタツキ無しの場合：作業 5. に進む。
- ・ガタツキ有りの場合：再度取り付け部の修正作業を行う。

5. フロントフェンダーライナー（RH）を元に戻し、③ハーネスBの2P コネクタ（灰色）と④ハーネスCの2P コネクタ（灰色）を接続して該当車両の修理書に従い、フロントバンパーを復元する。
6. 該当車両の修理書に従い、運転席側の内装パネル類を復元する。（3箇所）
7. バッテリーのマイナス端子を取り付ける。

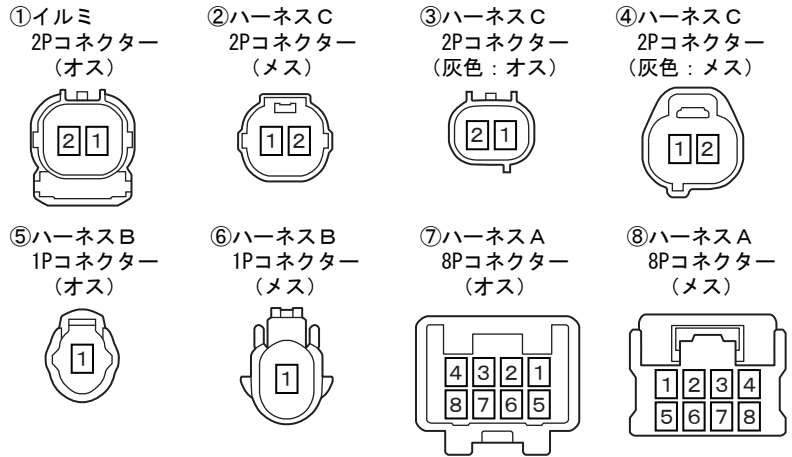
#### ■シグネチャーイルミ取り付け後の確認・注意事項

- ・ハーネスに無理な力が掛かっていないか、噛み込みや鋭利なエッジに干渉が無いことを確認する。
- ・イグニッション ON の状態にしてランプの点灯確認を行う。

#### ■取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びシグネチャーイルミ廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。  
該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。
4. 作業終了後は各システムの設定・確認を行ってください。  
（車両修理書「バッテリーターミナル脱着時の設定 / 作業」を参照）

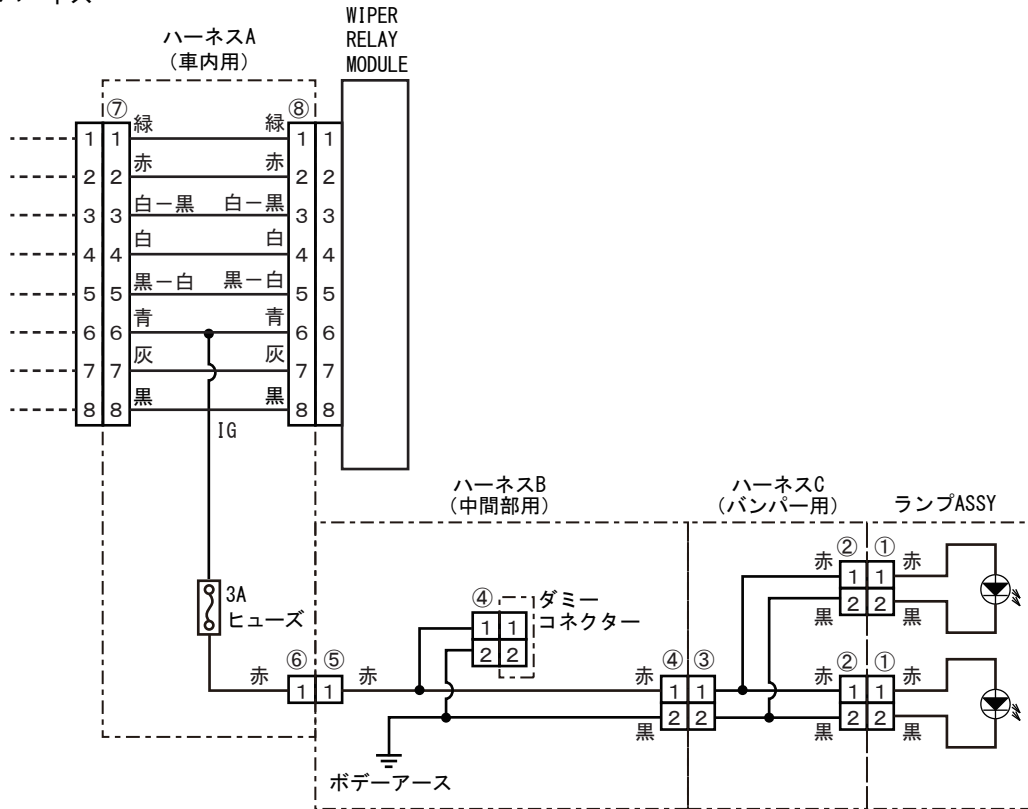
配線図



※上記コネクタ略図は、コネクタ接続側を示しております。

車両ハーネス -----

用品ハーネス \_\_\_\_\_



株式会社トヨタカスタマイジング & ディベロップメント  
 モデリスタ商品問い合わせ窓口  
 TEL:050-3161-1000  
<https://www.modellista.co.jp/>

# 脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。  
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を  
解説動画でご覧いただけます。  
右のQRコードよりアクセスのうえ  
ご確認ください。

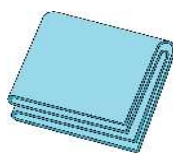


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
  - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
  - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

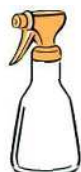
## ■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用  
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用  
ウエス



WET 用  
ウエス



イソプロピルアルコール(IPA)  
純度 70%程度を推奨  
※純度 100%はモールを痛めるため  
使用しないこと

## ■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。  
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠ 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

👉 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー  
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用  
燃料用として販売されている  
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。  
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。  
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

## ★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

### ■ 脱脂作業前に

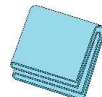
- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。  
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。  
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

### ■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



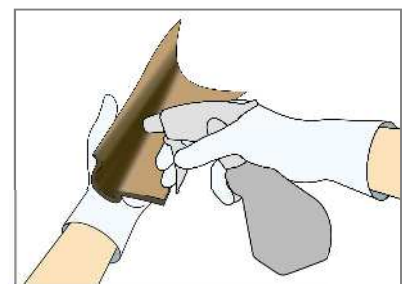
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

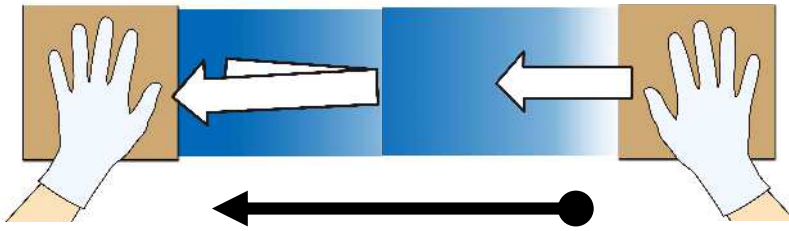
● 取付け面の脱脂作業を行う

① 【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで  
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

② 【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に  
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち  
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

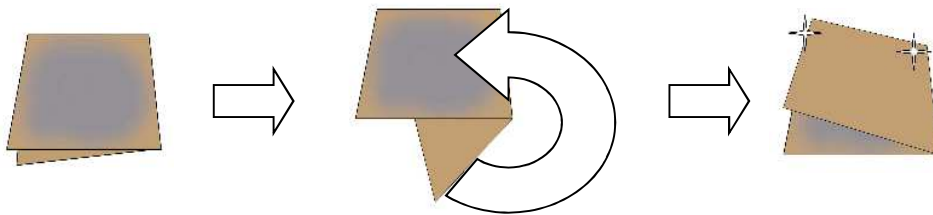
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを  
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が  
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3~5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し  
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に  
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に  
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。  
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。  
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に  
したがって行ってください。